



特定医療法人社団

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.hovukai.org/>

第131号

発行:2017年3月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会



## 横浜ほうゆう病院 栄養科の取り組み

～ 口から食べることを大切に ～

横浜ほうゆう病院 栄養科係長 福江 民子

横浜ほうゆう病院が開院して16年。開院当初より管理栄養士の1人として携わってきました。今回は当院のこれまでの取り組みと今後について紹介します。

当院の給食業務は、鵬友会の病院・施設の中で唯一直営です。職員構成は現在管理栄養士2名、調理師8名、調理員4名です。食数は入院患者食が1日約600食(内経管栄養が約36食)、デイケアが昼食のみ約22食(月曜日～土曜日)、職員食が平日約100食を提供しています。認知症専門の病院である当院は、当然ながらほぼ認知症の方です。その中で他では行われていないようなさまざまな工夫をしています。例えば食べられないものは提供していません。果物の皮や種はひとつずつ外しています。スイカの種もひとつずつ手作業で取っています。窒息の危険がありそうなもの(例えば、焼売や里芋など)は一口大に切るなどしています。拒食などで食事摂取量が少なかったり、ほとんど召し上がらない方には、ひとりひとり食べられそうなものを試しながら、できる範囲で個別対応しています。ちょっとした創意工夫

(その裏には厨房職員の努力がありますが)により食事を食事として提供できるよう心がけています。また前述のとおり、入院患者食は1日約600食提供しており、これは当院の病床数(215床)の9割以上にあたります。つまりこの食数を見ると、入院患者さんがほとんど経口摂取していることがわかると思います。以前に比べると胃ろうを作られる方が減って、最後まで口から食べるということを選択される方が増えていると思います。経管栄養の方は多いときには30名ほどいらっしゃいましたが、現在は10名ほどです。そこで、薬の影響や機能の低下で食べることが難しい患者さんにどのような食事が食べられるか、摂食・嚥下の知識や食事形態の工夫が必

要になってきています。

平成21年度から、NST委員会の活動を始めました。**NST**とは、日本語で「栄養サポートチーム」の略称で、主に入院患者の栄養問題の改善に取り組む多職種で構成されるチームのことを指します。初年度は1名だった年間の依頼が、その後徐々に増え現在は50名ほどになってきました。毎週火曜日の昼食時間に回診しています。依頼内容は摂食・嚥下に関するものがほとんどで、その他低栄養・低体重・褥瘡・経管栄養などです。当院ではNST加算をとることができませんが、多職種の意見を聞くことで気づかされることも多く、チームで取り組んでいくことの必要性を感じています。このNST委員会の中では院内で使用する基準などを作成しました。①「とろみ使用基準」これは各病棟バラバラだったとろみの量を院内で統一し、その後日本摂食・嚥下リハビリテーション学会の「学会分類2013(とろみ)」にあわせ改訂しています。このことで転棟や他院・他施設に移られたときも同じとろみの量の飲み物が提供できるようになっています。②「摂食・嚥下アセスメント表」これは患者さんの状態を定期的に評価していくことで、時系列で経過をみることで変化したときに食事形態の変更などを検討することができるようになっています。③「肺炎治癒後の食事のすすめ方および訓練手順」「嚥下訓練食」これは誤嚥性肺炎を繰り返す患者さんが多く、少しでも減らせないかと考え作成しました。観察項目・食事を上げる基準・3段階の食事・リハビリについて書かれています。

管理栄養士としては食事摂取基準・食品成分表・診療報酬などの改定にあわせ、情報収集や基準に合わせた見直しなど変化のスピードについていけるようにしていきたいと思っています。

## 2017年度 認知症ケア研修 横浜ほうゆう病院

介護施設から当院に受診・入院される患者さんは多くいらっしゃいます。その中で、施設で認知症症状の対応が困難でご苦労されている話をよく耳にしていました。そこで昨年から、私たちの持っている認知症のノウハウを介護されている方々と共有し、日々悩んだりしていることを話し合える場を提供できたらと考え、介護施設職員対象のセミナーを開催することにしました。2016年度は8月、11月、1月の計3回開催し、多くの方々に参加していただきました。

2017年度も引き続き、認知症ケア研修（介護施設職員対象セミナー）の開催が決まりましたので、ぜひ、ご参加ください。

※横浜市旭区・泉区・瀬谷区内介護施設職員対象

※第1回のパンフレットや参加費などの詳細は4月以降になりますので、ご希望の方は4月以降にお問い合わせください。

※【お問い合わせ】横浜ほうゆう病院 担当：前沢（マザリ）・原科（ハラシ） TEL 045-360-8787

第1回	5月13日（土）10：30～12：00	【認知症の基礎知識】—認知症ケア-養成講座—
第2回	9月9日（土）13：30～16：00（予定）	【認知症の看護・介護】—BPSDへの対応 Part 1—
第3回	1月20日（土）13：30～16：00（予定）	【認知症の看護・介護】—BPSDへの対応 Part 2—

## 出張講座 横浜ほうゆう病院

当院は地域への認知症の理解、対応の方法、受診や相談の方法など医療から看護、介護まで網羅して出張講座を行っています。昨年は瀬谷区の下瀬谷地域ケアプラザ、海老名市の3ヶ所のケアプラザ（海老名東、国分寺台、さつき町）から依頼を受け、出張講座に行っていました。『認知症の理解』をテーマに前半は認知症ケア専門士から認知症の病気や介護、対応方法、認知症の予防方法についてのお話。後半は精神保健福祉士から相談窓口や地域の社会資源、医療機関へのかかり方等をお話させていただきました。

認知症は誰もが関わる可能性のある身近な病気となっています。まずは、認知症について知ること大切です。地域の住民の方と共に勉強する機会を今後も増やしていきたいと思っております。



橋戸北自治会館にて



柏ヶ谷コミュニティーセンターにて

～施設見学・出張講座承ります～

認知症予防や認知症の症状への対応、医療機関へのかかり方等、地域に出向いてお話をさせていただきます。

保健師、民生委員の方等、施設見学にも応じております。

【お問い合わせ】

横浜ほうゆう病院 地域医療連携室 今野（イノ） TEL 045-360-8787



## ひな祭り ～ほうゆう保育園～



昨年ご近所の方からいただいた7段の見事なひな人形を飾り、「おひなまつりの会」を催しました。大きな7段飾りを見て、子どもたちはじーっとみとれていたり、お家に小さいのがあるよと教えてくれたりしました。